和歌

古今和歌集 ― 品詞分解 ―

春立ち（タ四・用）けける（過・体）日
袖ひち（タ四・用）て（接助・単接）むすび（バ四・用）し（過・体）水
春立つ（タ四・体）今日の（格助・体修）風や（係助・疑問（係））とく（カ四・終）らむ（現推・体（結））

詠め（マ四・已）る（完・体）
の（格助・主格）凍れ（ラ四・已）る（存・体）
を（格助・対象）

紀貫之

（巻一・春上）

桜の（格助・体修）花の（格助・体修）
ひさかたの（枕）光のどけき（形ク・体）春の（格助・体修）日に（格助・時間）
花の（格助・主格）散る（ラ四・終）らむ（現推・体）

散る（ラ四・体）を（格助・対象）
詠め（マ四・已）る（完・体）
しづ心なく（形ク・用）

紀友則

（巻二・春下）

題知ら（ラ四・未）ず（打・終）
五月待つ（タ四・体）花橘の（格助・体修）香を（格助・対象）
人の（格助・体修）袖の（格助・体修）香ぞ（係助・強意（係））
かげ（ガ四・已）ば（接助・順偶）
する（サ変・体（結））

よみ人知らず

昔の（格助・体修）

（巻三・夏）

秋立つ（タ四・体）日、
来（カ変・用）ぬ（完・終）と（格助・引用）
目に（格助・場所）は（係助・区別）
さやかに（形動ナリ・用）
おどろか（カ四・未）れ（自・用）

詠め（マ四・已）る（完・体）
の（格助・体修）
音に（格助・理由）
ぞ（係助・強意（係））
見え（ヤ下二・未）

藤原敏行

（巻四・秋上）

ね（打・已）
ども（接助・逆確）
風の（格助・体修）
音に（格助・理由）
ぞ（係助・強意（係））
おどろかれ（自・用）
ぬる（完・体（結））

在原業平

ちはやぶる（枕）　神代　も（係助・同類）　聞か（カ四・未）　ず（打消・終）　竜田川　から紅　に（格助・状態）　水　くくる（ラ四・終）　と（格助・引用）　は（係助・提示）

（巻五・秋下）

冬　の（格助・体修）　歌　とて（格助・引用）　詠め（マ四・已）　る（完・体）　山里　は（係助・提示）　冬　ぞ（係助・強意（係））　寂しさ　まさり（ラ四・用）　ける（詠・体（結））　人目　も（係助・列挙）　草　も（係助・列挙）　かれ（ラ下二・用）　ぬ（完・終）　と（格助・引用）　思へ（ハ四・已）　ば（接助・順偶）

（巻六・冬）

源　宗于

題　知ら（ラ四・未）　ず（打・終）　思ひ（ハ四・用）　つつ（接助・継続）　寝れ（ナ下二・已）　ば（接助・順理）　や（係助・疑問（係））　人　の（格助・主格）　見え（ヤ下二・用）　つ（完・終）　らむ（現原推・体（結））　夢　と（格助・引用）　知り（ラ四・用）　せ（過・未）　ば（接助・順仮）　覚め（マ下二・未）　ざら（打・未）　まし（反仮・終）　を（間助・詠嘆）

（巻十二・恋二）

小野小町

五節　の（格助・体修）　舞姫　を（格助・対象）　見（マ上一・用）　て（接助・単接）　詠め（マ四・已）　の（格助・体修）　良岑宗貞

天つ風　雲　の（格助・体修）　通ひ路　吹きとぢよ（ダ上二・命）　乙女　の（格助・体修）　姿　しばし（副）　とどめ（マ下二・未）　む（意・終）　る（完・体）

（巻十七・雑上）